

パブリックコメントによる意見募集の結果および病院の考え

No	受付日	ご意見	回答
1	2月1日	どれもとてもいい案だと思います。 「多摩西トータル医療センター青梅」なんていうのも、名称候補にいかがでしょうか？ 医療関係の方は、西多摩より多摩西という呼び方を比較的使用しているような気がしています。	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、いただいたご意見をふまえ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
2	2月1日	名称を変更せず「青梅市立総合病院」のままを希望します。 長年続いてきた名称は市民に深くなじんでいます。 なぜ名称変更が必要なのか、名称コンセプトがイメージ先行で理解できません。 また、なぜ上記の5案のみなんですか？ 名称変更に伴い、診察券とか帳票類のデザイン変更や印刷版新規作成など、余計な費用が発生します。建替の費用はやむを得ませんが、付随する費用はなるべく圧縮すべきです。 下記説明は、初めから名称変更ありきのような気がします。 関係者の気まぐれな発案ではなく、今一度、医療の本質に立ち戻っていただきたい。 「…なお、頂いたご意見を参考として名称候補を1案に決定し、青梅市長と病院事業管理者による最終協議にて病院名称を決定します。」	ご意見をありがとうございます。 現在の病院名称が市民に馴染み深いものであることは事実です。 しかしながら、地域だけでなく、国や都の医療政策の観点からも、当院の役割は変化し続けており、西多摩地域の中核病院として、より高度で専門的な医療に重点をおく必要があります。このイメージを広く伝えるために病院名称を変更するならば、新病院の開院が一つの契機であると考えました。 なお、名称候補の5案は、数多くの候補の中から議論を経て選出したものであり、新名称の方向性をイメージしていただくための参考として提示いたしました。 また、病院名称変更にかかる費用については、新病院の開院に合わせて、ことにより最小限に抑えられるものと考えておりますが、さらに圧縮できるように精査してまいります。
3	2月3日	病院名は「青梅市立総合病院」のままで良いと考えます。 歴史のある名称を何故変更するのでしょうか。 名称を変更することは今までの実績をなし崩しにしてしまうことにもつながりかねません。 上記の5案は、すでに存在している都立の「多摩総合医療センター」などと混同しやすく、青梅や多摩を知らない人にとっては同じ病院と間違えられる可能性があります。 また、数年先まで「新病院名（旧名称：青梅市立総合病院）」などと表記しなければ、新たな名称の病院が青梅市立総合病院からの名称変更と捉えられず、別の病院と間違えられる可能性もあります。 さらに、名称の変更は汚名を返上する際に行われることもありますので、杞憂かもしれませんが、新型コロナウイルス感染症のクラスターがいくつか発生し、多くの方々がお亡くなりになられたことを払しょくするために名前を変えたなどと変な噂が流れたりすることもあるかもしれません。 以上、名称は変更しないようお願いいたします。	ご意見をありがとうございます。 現在の病院名称には歴史があります。 しかしながら、地域における当院に求められる役割は変化しており、より高度で専門的な医療を担う病院づくりが必要となっております。このイメージを広く伝えるために病院名称を変更するならば、新病院の開院が一つの契機であると考えました。 ご意見のとおり、60年の歴史を通して地域医療に貢献し、多くの実績を積んでまいりましたが、病院名称の変更により過去の実績がなし崩しになることはなく、今まで以上に広く、多くの実績を積むことができるものと考えております。 また、他の病院との混同や、別の病院であるとの誤認が生じないように努めてまいります。
4	2月3日	「青梅市立総合病院」のまま現状維持がよいです。 【理由】 通称、「総合病院」「青梅総合」で浸透しています。 十分に地域に根差しています。 わざわざ名前を変える必要はない。 また、名称を変えることで費用が発生すること そのことが一番の問題。 名称が変われば全ての名称を修正する必要があります。 これこそ無駄の極み。 もちろんその原資は市民の税金ですよね。 その費用は他の医療や医療スタッフに使用して下さい。 総合体育館のようにスポンサーが付けば名称変更の価値があるが誰の自己満足ですか？ 院長ですか？病院事業管理者ですか？市長ですか？ 例えば、「名称変更により総額1000万円かかりました。」と言って納得してくれる市民がいる と思いませんか？	ご意見をありがとうございます。 「総合病院」として、病院名称が市民に浸透していることは事実です。 しかしながら、地域だけでなく、国や都の医療政策の観点からも、当院の役割は変化し続けており、西多摩地域の中核病院として、より高度で専門的な医療に重点をおく必要があります。このイメージを広く伝えるために病院名称の変更するならば、新病院の開院が一つの契機であると考えました。 また、病院名称の変更により、診療対象地域の広域化や新たな医療スタッフの採用も考えられ、病院経営への相乗効果も期待しています。 なお、病院名称変更にかかる費用については、ご意見をふまえ、付随費用を圧縮できるように精査してまいります。
5	2月4日	呼び間違いのないように、ひらがなの「おうめ」も良いと思います。 実際、関西圏の方には「あおうめしって素敵な地名ね」と言われます。 「おうめメディカルセンター」 という名称はいかがでしょう？	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、ご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
6	2月7日	新名称変更案への意見として、次の理由により「西多摩総合医療センターome」をふさわしい新名称と考えました。ご検討よろしくお願い申し上げます。 【理由】 1. 「青梅」、「青梅市」、「青梅市立」の表示はふさわしくない理由 ①病院の開設者は青梅市長ではあるが、市民の税金によって運営されているという誤解を招くこと。（2018年12月15日、広報 おうめ 特集号における「市民の税金によって運営されている病院なのだから、市民を優先すべきだ」の記事をご参照ください。） ② 青梅市のみではなく、西多摩地域で唯一の三次救急として対応していることがわからないこと。 2. 「青梅広域」の表示はふさわしくない理由 ① 西多摩地域に対応していることがわからないこと。 ② 「青梅市内の広域」と誤解を招くこと。 3. 「ome」を小文字で末尾に表示した理由 ① 「西多摩」を冒頭に表示することにより、西多摩地域に対応していることを強く印象づけられること。 ②所在地がわかること。 ③語呂がよいこと。 ④現代的で洒落た印象を与えること。	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、ご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
7	2月9日	青梅市立総合病院で生まれて、数年間在職経験もあり思い入れがあるため、名称は変更して欲しくないです。	ご意見をありがとうございます。 現在の名称が馴染み深く、市民の皆様にも思い入れがあることは事実です。 しかしながら、地域における当院に求められる役割は変化しており、より高度で専門的な医療を担う病院づくりが必要となっております。このイメージを広く伝えるために病院名称を変更するならば、新病院の開院が一つの契機であると考えております。
8	2月9日	当方青梅に住み始めて30年近くなります。持病がある為とてもお世話になっております。 年齢のせい、変化に対して中々順応できにくくなって来ている事を感じております。現行の名称には馴染がありまた重厚感があると思います。妙なカタカナ名称とかは如何なものか感じております。現行のままで良いと思います。	ご意見をありがとうございます。 60年にわたり使用されてきた現行の名称は、馴染み深く、また名称に重みがあることは事実です。 しかしながら、地域だけでなく、国や都の医療政策の観点からも、当院の役割は変化し続けており、西多摩地域の中核病院として、より高度で専門的な医療に重点をおく必要があります。このイメージを広く伝えるために病院名称を変更するならば、新病院の開院が一つの契機であると考えております。 「センター」とカタカナを使用しておりますが、高度で総合的な医療機関であることがイメージできる語句であり、全国的に広く使用されているため、検討候補に入れております。

パブリックコメントによる意見募集の結果および病院の考え

No	受付日	ご意見	回答
9	2月9日	新病院になる機会新しい名称と言うならば、インパクトがあり、東京都であることもアピールしたらよいと思います。「Tokyo青梅医療センター」を変更案として意見します。	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、地域の皆様のご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
10	2月10日	新病院が誰が主体経営か、場所はどこにあるかが名称で表現されていると利用する立場とすればありがたい。 5案の中では ・青梅市立総合医療センター 許されるならば ・青梅市立河辺総合医療センター ・青梅市河辺医療センター	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、ご意見をふまえつつ、当院を利用される患者さんの立場に立ち、医療法や医療広告ガイドラインに照らしながら、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
11	2月12日	「青梅市立総合医療センター」の名称が良いと思います。 【理由】 ・「病院」→「医療センター」へ変更のみの方がシンプルで分かりやすく良い。 ・長過ぎず短か過ぎずで調度良い。 ・近代的かつ高度医療をイメージ出来る。 ・『市立』という名称があると青梅市民の敬意と誇りを感じる。	ご意見をありがとうございます。 いただいたご意見をふまえ、シンプルで分かりやすい病院名称を検討いたします。
12	2月14日	私は持病のある80才の老人です。病院名は青梅地域の住民の総合的な医療を担うと云う意味で医療センターと命名されればどの候補も良いと思います。 新しい医療体制でスタートするに当りお願いがあります。 住民の命と健康を守ることから行政が直接携わる医療機関として「地域感染症対策室（青梅保健所からの出向も可）」を是非設置して下さい。 コロナが出現して2年以上過ぎていますが今だに世界中の人達がその対策に手をやいています。いつになったらマスクをはずし大声で笑える日がくるのでしょうか。今後、コロナに私達が打ち勝ったとしても、異なるウイルスによる感染症が地球上に現われ、コロナの様に、又はそれ以上に私達の生命をおびやかすことでしょうか。 感染症とのたたかいは未来永劫続いていくことでしょうか。 ぜひとも地域医療を担う関係者の皆様の知力と想像力でどの地域よりも進んだ医療センターを築きあげて下さい。 だれしもが感染症に罹患し、医師の顔を見ずに自宅で死にたくありません。 そして行政が良く行う「住民の意見を聞いた」だけの資料にしないで下さい。 宜しくお願い致します。	ご意見をありがとうございます。 建設中の新病院では、新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症に柔軟に対応できるように設計変更を行い、整備を進めております。 いただいたご意見をふまえて慎重に検討いたします。
13	2月14日	青園総合医療センター	ご提案をありがとうございます。 病院名称の変更にあつては、ご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないように慎重に検討いたします。
14	2月14日	新病院名称変更案は「多摩西部医療センター」が望ましいと思います。東村山市に多摩北部医療センターがあることから馴染みやすいと思われます。	ご提案をありがとうございます。 他病院と名称を揃えることで、認知度が高まる可能性も一理あると考えます。ご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ他の病院と間違えにくいものにするべく慎重に検討いたします。
15	2月16日	新名称希望「青梅市立総合医療センター」 理由 1. 青梅市立総合病院の長い歴史の中で、この名称が青梅市民のみならず広く広域市民に定着し、青梅市民もこの名称に愛着を持っているのでぜひ「青梅市立」を頭につけていただきたい。 2. 「青梅市立」がついていることによって、救急車等で緊急搬送された場合など、病院の所在地がすぐにわかり、家族等が駆けつけることができます。 3. 病院名に「西多摩」がつくと、西多摩地域には公立阿伎留医療センターや公立福生病院があるので、新病院の所在地がわかりにくくなってしまふ心配があります。 4. 「青梅総合医療センター」であれば、公立なのか私立なのかわかりづらくなるので、やはり青梅市立をつける必要があります。	ご意見をありがとうございます。 地域へ根付いた愛着を残しつつ、利用者にとってわかりやすい病院名称にするべく慎重に検討いたします。
16	2月17日	青梅市立である事！今までの事を忘れないで欲しい。	ご意見をありがとうございます。 病院の開設者は青梅市長であり、現在の名称が馴染み深く、市民の皆様にも思い入れがあることは事実です。 地域の皆様のご意見をふまえ、今までの病院を継承するものにするべく、慎重に検討いたします。
17	2月18日	新病院名称変更案「メディカル青梅・総合医療センター」通称「メディカル青梅」。別利用に「メディカルOme総合医療センター」 昭和32年11月開院から60数年の人々への医療従事。生死の摂理に挑み続けた闘いの場であったことをお察し申し上げスタッフ、クランケ、ご家族の様々なドラマを見守り続けた市民の病院が再び今日的医療の現場として新風が運ばれます事、敬意と共に期待しております。 窓辺の落ち着いた山々の緑深き曲線、東京でありながら恵まれた清々しさもお薬の一つと感ぜられます。ぜひこの地に医療、教育（幼児から本を手を自ら思考）、環境整備の三本柱、誠実なる進化その安心に貢献頂けます有能なドクター、コメディカルの方々は私達の大きい「希望」です。今後の更なる多忙さに散雑でない限り高度、総合医療は人から人へ伝えられその理念の連鎖は永続的な医療への信頼に通ずるものと確信しております。	ご提案をありがとうございます。 地域の皆様の期待に沿い、より信頼性の高い医療が提供できる病院を目指し、慎重に検討いたします。
18	2月18日	新病院名には病院の特徴として、青梅市、私立、総合も病院も不可欠なのは分かります。ですが現在の青梅市立という呼び方には違和感を持ってしまいます。 近隣の市立病院である日野市、稲城市、厚木市、所沢市、大和市、横浜市、川崎市などでも、市名の後に「市立」としているが、どうも不自然に聞こえてしまいます。本来ならば青梅市・市立・総合・病院となるべきだと考えますが、青梅市の市を取り除いて市立とつなげているように聞こえます。実際、総合病院の話題が仲間内で出ると、誰も青梅市立総合とは呼ばずに青梅総合とか青梅総合病院と呼んでいて、市立と改めて付け加える人は、まずいません。呼びづらいのです。青梅市・立なのか、青梅・市立であるかの判別が難しいからではないでしょうか。 そこで私の提案ですが、市立という表現の位置を変えたいかがでしょうか。すなわち、市立青梅総合病院とする案です。市立を前に持ってくる例としては千歳市に、市立千歳市民病院というのがあります。ご参考までに。以上	ご提案をありがとうございます。 現在の病院名称における「市立」の位置を変更することは、市が設置主体であることを強調できるものと考えられます。また、利用者による呼称に合わせることで、馴染みやすさが生まれることにもなります。 いただいたご意見をふまえつつ、医療法や医療広告ガイドラインに照らし、分かりやすく、かつ誤認を生じさせることのないものにするべく慎重に検討いたします。